令和8年度2学期　始業式

2学期、自分の未来をつくる学期にしよう

宇野中学校の校章

玉野中央中学校の校章が決まりました！

校章デザイン決まる

27年度開校の2中学校

玉野市内の5中学校を再編し、2027年度に開校する「玉野中央中」と「玉野東中」の校章デザインが決まった。船にまつわる図柄や鳥の羽をイメージした文字を取り入れ、未来への船出や羽ばたきといった願いが込められている。（高橋由大）

玉野中央中

玉野東中

船出、羽ばたき 願い表現

玉野中央中は宇野、玉、日比中の3校を再編し、宇野中（同市築港）校地に開校する。校章は青色を基調とし、中心にいかりを配置。三つの波で3校の融合を表したほか、船をつなぎ留めるロープをイメージした外枠は、生徒同士の絆や地域との結び付きを表現したという。

玉野東中は山田、東児中を統合し、現在の東児中（同市北方）の校舎を活用する。校章は校名にちなんだ「ひ」の文字や月桂樹をあしらい、爽やかな青緑色で彩色。目標に向かって羽ばたくようにと「ひ」は鳥の羽のように描いた。

校章デザインは市教委が1、2月に全国から案を募り、玉野中央中に341点、玉野東中に230点が寄せられた。再編に関係する小中学校の児童生徒や保護者、教職員、再編準備委員会委員の投票を経て各1点が決まった。校旗や体育館の幕などに活用する。

市教委学校再編推進課は「新たな歴史を紡ぐ校章に愛着を持ってもらいたい」としている。

- 三つの波は統合する宇野、玉、日比を表している。

外周は、船をつなぐロープをイメージし、友達同士や地域との「つながり」をイメージしている。

真ん中のいかりをイメージした船が希望の大海原へ「船出していく」ことを意味している。

どれくらいの規模の学校になるの？

3年生　190人（玉10人日比27人）

2年生　170人（玉2人日比8人）

1年生（予定）　178人

全校生徒（予定）　538人

2学期以降で統合に向けて行うこと

①令和８年９月１５日（火）（１年生）
　授業体験
②令和８年１０月１４日（水）（支援学級）
　授業体験と給食
③令和８年１１月１７日（火）（１・２年生）
　宇野中学校「たまの未来プロジェクト」へ参加
④令和９年３学期（１・２年生）
　通学体験（スクールバス・自転車）と授業体験
⑤令和９年３学期（支援学級）
　授業体験

2学期にがんばってほしいいこと

学びを深める　仲間と高め合う　挑戦を楽しむ

学びを深める

授業と家庭学習を大切に！

「授業で学ぶ」
「家庭で定着させる」

このサイクルが力になる。

毎日の積み重ねが、
未来の自分を支える。

目標 と 学習計画 をきちんと立てて、2学期にのぞもう

「やらされる自分」（他者決定）から
「する自分」（自己決定）へ

※「まなびのナビ」より

①自分の学習状況（何ができていないかなど）を把握する

②自分にとって「必要な学び」を決める→学習の計画を立てる

③SNS視聴時間が3～4時間は多すぎ！「見直しを！」

仲間と高め合う
行事は「成長のチャンス！」

1年生玉野調べ

弁論大会

2年生
職場体験

働くリアルを知り、
未来の自分の
生き方に生かす

たまの未来プロジェクト

地域を知り、地域と共に学び、
地域のために行動しよう

人権集会

相手の気持ちがわかる人になろう

合唱
コンクール

今年も感動的な
合唱を
期待しています

挑戦を楽しむ

2学期には、行事や日々の勉強、部活動など、皆さん一人ひとりに新たな「壁」がやってきます！

失敗を恐れず一歩を踏み出す
「できるかどうか」ではなく「やってみよう」で行動してみる

プロセスに目を向ける
うまくいかない時こそ「どう工夫するか」を実験のように楽しむ

3年生へ

君たちは受験生です！
そして宇野中最後の卒業生です

人生は選択の連続だ

自分の生きたい高校（進路）を決めるという
大きな選択をするとき

自分の夢や目標を達成するために
今、頑張らないでいつ頑張るの？

全校生徒へ

「勉強」や「やりたくないけど
やらなければいけないこと」というのは
社会にでても必ずあります。

勉強をはじめ、今やるべきことに
一生懸命がんばることは、
「未来への貯金」なのです。

自分の未来をつくる

なりたい自分（目標）を思い描き、
それになりきる強い思いをもって
行動してほしい

さあ、2学期のスタートです
宇野中学校のフィナーレを飾り、玉野中央中学校の
「船出」へ向けてしっかり準備していこう！